

第6回「歩いて楽しいまちなか戦略」推進会議 摘録

1 日 時 平成26年3月20日（木）午前10時30分～正午

2 場 所 ホテル本能寺 5階 醍醐ホール

3 出席者 別紙のとおり

4 議事次第及び内容

〔1〕開会

〔2〕出席者自己紹介

〔3〕議事

〔事務局より、資料説明〕

（京都運輸支局 川合専門官）

- 資料5のP.5について、商店街を利用する物流事業者ではなく、商店街が利用する物流業者に修正頂きたい。

（河原町商店街 宇治田委員）

- 河原町商店街のまちを見ていて、感じたことを述べさせていただく。南北のバスの通行量は、1,300台／日くらい通っている。四条通で車道を狭めて歩道を広くすると、追い越しができないため、バスの後を一般車両やタクシーが通るわけだが、そのときの渋滞はシミュレーションをしたことがあるのか。どれくらいの頻度でバスが渋滞するのか、教えていただきたい。

（高見事業推進担当部長）

- バスがテラス型停留所に停まったら、車がバスの後ろに並んで、渋滞するのではないかと
いうご質問かと思う。設計時の私どもの調査では、1,680台のバスが四条通を通っていた。
- テラス型停留所にバスが停まると、追い抜きができないため、後方に車両が並ぶが、その
時点でバスの前の自動車は、先に進んでいるため、バスが出発する頃には、前面に空間が
できる。現在、四条通の交通のスピードは非常に遅いが、前に空間ができた段階で出発す
ると、法定速度くらいで発車することができ、後から追いつける。
- シミュレーションでは、四条通を走る車のスピードが、8%くらい落ちるだけで、ほとんど
影響はないと考えている。

（河原町商店街 宇治田委員）

- 四条通には細街路の信号がたくさんある。南北の車の流れもあるが信号機による停滞はな
く、うまく流れるのか。

（高見事業推進担当部長）

- 信号についても設計時に交通量調査を行って、その部分も加味している。不都合はない。

(京都府トラック協会 浅井委員)

- 資料を見ると、物流事業者については、トラック協会が責任を持つことになっている。啓発について、トラック協会が違反車両への呼びかけを現地に出掛けて行うというイメージをお持ちなのか。

(高見事業推進担当部長)

- 先ほどのご説明のとおり、エリアマネジメントのコアグループを、先日立ち上げたばかりである。今後、平成 26 年度末の完了に向けて、まさに今から、関係団体のみなさまと一緒に考えていきたいというところであり、まだ具体的な案はない。

(京都府トラック協会 浅井委員)

- 了解した。トラック協会の広報媒体等を使って周知することは可能であるが、現地での違反車両への呼びかけという活動が、私どもの協会でするかというと、なかなか難しい。

(四条繁栄会商店街 亀井委員)

- まず初めに、皆様方の御尽力でこの事業が進みつつあることに対して、地元の商店街として関係各位に心より御礼申し上げる。
- 資料 5 の「平成 25 年度の取組等について」の中身は、もう合意事項であるという説明があった。再度、確認するが、もう合意済か。

(高見事業推進担当部長)

- 先日、1 月 31 日に、四条エリアマネジメント会議を開催した。そのときに提案した内容が資料 5 である。概ね、このような方向でとは考えているが、具体的な中身等については、今後、しっかりと精査していく。あくまでも、これは概ねの案と考えていただければ、結構である。

(四条繁栄会商店街 亀井委員)

- 物流のトラック協会からも話があったが、この「平成 25 年度の取組等について」の報告として、エリアマネジメント会議での結論というかたちで提案されている項目については、検討中のものが非常に多いと拝見している。これが決定事項というのであれば、もう一度、きちんとご検討いただきたい。

(塚口会長)

- 細部については、エリアマネジメント会議等で、十分に詰めていくことになるだろう。
- ここに書いてあることが、一字一句、すべて決まったというわけではないのですが、全体の方向性としては、何回もエリアマネジメント会議等で、議論しているため、こういう方向でいきたいというのが、市の見解だろう。

(四条繁栄会商店街 亀井委員)

- 例えば、資料 5 の 6 ページ、「①四条通の歩道拡幅と公共交通優先化に向けた取組」の中で、沿道管理機器について、Step1～Step3 という一連の流れが書かれている。この辺りについては、まだ、きちんとした議論にもなっていないと認識している。

(塚口会長)

- ここは、私もそう思う。もう少し、6 ページについて、説明を願う。

(高見事業推進担当部長)

- 6 ページは、事務局の原案である。沿道管理機器の予算についても付けていただいたところである。このシステムについても、これでなければいけないというものは、現在ない。
- 沿道アクセススペースにポールが立っていて、そこにセンサーが付いていて、一定時間以上、停まっている車に対しては、何らかの警告ランプがつくという物である。その警告ランプを、巡回指導員が発見して、指導にあたるといったもの。この指導員の組織をどのようなメンバーで行うかについては、まさに、これから検討しようと考えている。

(四条繁栄会商店街 亀井委員)

- 他の点について言うと、3 ページのご説明の中にも、自転車の放置、走行についての検討も行うということは、資料に書いてないが、あえて口頭で付け加えられていた。
- 京都市の状況もわかるが、本日、いろいろな立場の関係者の方が来られているので、平成 25 年度の取組等についてということでご報告されると、ご賛同の上でという話になりかねないので、少し整理をして、説明いただくべきところである。

(高見事業推進担当部長)

- 了解した。

(岡田副会長)

- 私も「平成 25 年度の取組等について」という議題に入っているため、すべて行ったことになってしまうと思う。
- 今の説明にあった多くのものは、おそらく来年度の方針になる。結果報告とそうでないものをきちんと整理していただきたい。

(高島屋 大井委員)

- 平成 26 年度のスケジュールを見ると、今の管理機器の検討等、いろいろと今後詰めていくことも多いようだが、大体どこまで進行していて、どんな時間帯で、どのような段取りをされるのなど、ある程度のイメージとして教えていただきたい。

(高見事業推進担当部長)

- 整備のスケジュールとしては、現在、関係機関と道路の形状について、鋭意協議中で、工事の設計図をつくり込んでいるところである。
- 平成 26 年度末の完成を全力で目指している。ゲリラ豪雨対策の雨水管を中央部に埋めるた

めの試掘が始まる。まず、それが先行してから、市の道路整備がその後を追っかけていくかたちになる。歩道そのものの工事を、いつ着工できるかということについてはまだ未定である。

- 工事の時間帯は、基本的に夜間に行って、仮復旧をして、昼間は車が走れるようにする。工事の前には、当然、商店街をはじめ、地元にはきちんと御説明したい。

(道路建設部長代理 小島事業促進担当課長)

- 工事については、現在の歩道を拡幅するために、歩道の前出し工事を進める予定であり、それができた段階から、舗石を貼っていく予定である。これについては、業者によっても方法等も違うため、業者がきちんと施工計画を立てた段階で、地元にも説明会をして、工事の内容については、周知していきたい。

(高島屋 大井委員)

- 四条通も部分的に、順次、2車線化されていき、そのときには、まだ歩道はできていないので、今の幅のままということか。

(道路建設部長代理 小島事業促進担当課長)

- そのとおりだ。

(高島屋 大井委員)

- バスの運行等、朝になったら、元に戻すわけではないので、一度、出したら、車道が狭まっているという理解でいいか。

(道路建設部長代理 小島事業促進担当課長)

- そのとおりだ。

(塚口会長)

- お集まりのみなさま方にとっては、工事がいつ頃始まるのかということが、最大の関心事である。事務局においては、全市を挙げて、計画的に取り組んでいただきたい。

(山田副会長)

- 物流の取組について、補足説明をさせていただく。
- 物流の取組について、行政主導のスタイルから、大手の物流業者が提案する、新しい物流システムの試行（トライアル）に変わってきている。
- もともと貨物というのは、荷主が取引をすることで動かすものなので、荷主の協力が不可欠である。そういう意味では、今回の新京極商店街での実験は、初めての荷主が主導の実験であり、この結果というのは、今後、このエリアをどういう物流システムにしていこうかということを考えるうえで非常に重要な実験である。
- 「歩いて楽しいまちなかゾーン」についてだが、都心部の商業地区に特化して考えるとこのエリアになるのだが、エリア内には児童数の多い小学校があるため、ここにお住いのご

家族は、基本的に、学区でものを見ている。そうすると高倉小学校の一部だけで重点的に整備されているため、実際、若干の不公平感がある。

- 商業地区としてみればこのとおりであるので間違いとは言えないが、もう少し学区という見方も入れたほうがいい。これは実際に、地元から声が上がっているのです、今後はぜひ考慮していただきたい。

(高見事業推進担当部長)

- 平成 26 年度については、高倉の西、蛸薬師通と六角通、南側については、高辻通のラインまで、施工ができないかと考えている。
- 私どもも学区というものを非常に重視しているので、今後も念頭に置いて取り組みたい。

(岡田副会長)

- 来年度のスケジュールに関して、京都市全体、あるいは、観光客を含め、かなり早めに周知しておく必要があるのではないか。予算措置等を含め、周知方法に関して、事業としての柱を立てることは、検討されていないのか。

(別府歩くまち京都推進室長)

- お尋ねの点は、市全体、あるいは、全国への発信に関して、車ではなく公共交通でということも含め、また、賑わいの創出に向けた、魅力の発信ということかと思う
- この点で、何か特別な予算ということではないが、現在、四条に繋がる公共交通の事業者のみなさま、本市の観光・商業セクションが集まって、協議体を設けている。
- そこで、工事に伴う整備状況等を、いかにわかりやすく、市全体にお伝えするのか、それから、魅力をわかりやすく、市民のみなさま、全国に、どう発信していくのかについて、それぞれ本市のセクションでの取組や全体での取組を活かして、さまざまな面で発信していきたいと思っている。
- できるだけ早急に、周知方法についても詰めていきたい。

(下京警察署長代理 岩本交通課長)

- 広報について、いかに周知徹底を図るか考えると、当然、四条通の話だけでは済まないわけで、全般的な広報戦略をどう構築するかということである。それから、現在、使われている方が、ある程度、特定されるのであれば、その利用目的によって広報のあり方も、必然的に変わる。
- また、観光都市である京都の特殊性を考えると、外国人に対する広報戦略というものも、当然、必要になる。京都市での取組の中で、注意していただきたいのは、縦割りではなく、それぞれがどの部分を重点的に取り組んでいけるか、横の連携を考えて、四条通の歩道が実際に拡幅されたときに、どんな使われ方になって、どんなデメリットもあるのかというのが、わかるような広報をしていただきたい。渋滞が発生するダメージをできるだけ少なくするという意味では、広報が一番重要な戦略だと考える。

(堀池交通政策監)

- 市長がいつも申しているのは、「広報は届かなければ、意味がない」ということである。単に広報していると口で言うだけでは全然届いていないわけである。そして、戦略をきちんと立てて周知していくとなると、縦割りではなく、京都市のあらゆる部局、区もあるので、しっかりと連携をして、広報戦略を実行していく必要がある。
- それぞれの部署にはそれぞれの強みがあるので、縦割りをなくし、総合的な広報戦略を立てていく必要がある。また、直前では間に合わないのも、ある程度、早い時期に実施していかなければならない。庁内にはそれを目的とした会議体もあるので、今のご指摘もしっかりと検討していきたい。

(近畿地方整備局建政部都市整備課長代理 田中課長補佐)

- 今回の四条通の取組は、非常に素晴らしいと思っている。整備効果の検証、課題の整理をきちんと実施してほしい。近畿地方整備局としては、こういう取組の整備効果の検証と、課題の整理についても、今後、教えていただきたい。

(高見事業推進担当部長)

- 拡幅事業は、貴重な国の財源をいただいた上での施工である。四条通本線の通行量の動向だけではなく、細街路の状況、歩道拡幅による人の通行量がどうなるのか、この 3 つについては、しっかりと検証していきたい。

(塚口会長)

- 京都から始めるということは、発信力が大きいため、整備効果は、都市における今後の整備運用の仕方に影響する。したがって、事前にしっかりと、どういうことを調べておかなければならないのか、市のほうで考えておくべきである。

(京都運輸支局 川合主席運輸企画専門官)

- 流入抑制についてだが、京都大丸では、駐車場を持っているので、買い物をしていただいたら、駐車場が無料になるという、マイカーで来られた方だけに特権（インセンティブ）を与えられることを行っているが、一方、神戸大丸では、マイカーは有料にして、公共交通でお越しになった方に、そういうインセンティブを与えることにして、市内に流入する車を減少させた。
- そういう視点でもって、今後、取り組んでいただきたい。

(高島屋 大井委員)

- 私どもの駐車場は、河原町通の渋滞等で、かなりいろいろと迷惑をかけている。近隣の大きな駐車場がなくなったのを機会にして、最寄の所に停めていただく際の駐車場の割引率を下げたり、大津や草津の公共駐車場にて P & R を実施している。
- 最近では、高槻周辺で P & R の駐車場を増やしてきており、毎年、かなりの量を停めていただいているようで、非常にご好評である。一方、公共交通の利用ができず、車でしか来られない方もたくさんいるので、少し差を付けながら、分散化を図っている。
- もう 1 つは、公共交通の利用促進キャンペーンとして、eco スタンプキャンペーンというの

を実施している。これも 2 年ほど実施しているが、非常に効果的であるが、通年実施するのはなかなか厳しいので、年に 1 カ月ほど、お休みさせていただいている。まだ再開しないのかというお叱りのお声が多く、それを貯めるお楽しみもあるようである。今までの駐車サービスをゼロにするというのは、実験では効果があるかもしれませんが、できるだけ、公共交通で来られる方、遠くから来られる方は、停めていただけるように優遇して、あとはバランスを取っていく努力をしているので、ご承知おきくださるよう、よろしくお願いします。

(京都商店連盟中京東支部 石野委員)

- 最終的な設計をしている中で、また各部局と議論をするという話があったが、どういう問題を議論しているのか。

(道路建設部長代理 小島事業促進担当課長)

- 概ねの方針は、都市計画決定等で決まっているが、最終の構造についての詰めである。

(京都商店連盟中京東支部 石野委員)

- 細かい詰めというのは、具体的にどういうことか。

(道路建設部長代理 小島事業促進担当課長)

- 例えば、カーブの R がどれくらいとか、車線の切り込みが何センチ等の細かい詰めについてである。最終段階として検討している。

(京都商店連盟中京東支部 石野委員)

- それは、早急に結論は出るのか。

(道路建設部長代理 小島事業促進担当課長)

- 早急に出すようにしたい。

(京都商店連盟中京東支部 石野委員)

- 祇園祭等のときだけ四条通が安心・安全であればいいというものではない。365 日、四条通が安心・安全のまちにならなければいけないという意味で、十分に検討してほしい。

(道路建設部長代理 小島事業促進担当課長)

- そのとおりである。

(京都商店連盟中京東支部 石野委員)

- 資料 5 の 14 ページ、歩道のカラー舗装についてだが、なぜ京都市はこんなややこしい線を引くのが好きなのか。これが車道で、ここは歩道だと、違いがわかるように色を全部塗ってしまえばいいのではないか。看板についてはうるさく言う割に、道路にはこんな線ばかり引いていては駄目である。

(土木管理部長代理 谷口調整課長)

- できるだけ、車の通る所と人の通る所を分離するのが一番いいというのは、ご指摘のとおりである。
- それが物理的にできない状況で、苦肉の策として、いろいろと考えさせていただいていることは、ご理解いただきたい。

(京都商店連盟中京東支部 石野委員)

- 御池通の自転車走行レーンについてだが、これから夏になったら、自転車道が日陰で、歩道が日向なので、歩行者はみんな日の当たらない自転車レーンを歩くことになる。この点について、十分に何か、啓発活動等をしないといけない。一生懸命に線を引いたから、それで終わりというのでは、まったく意味がない。

(塚口会長)

- 会長としてではなく、一研究者として私見を述べさせていただく。
- 将来的にさらに改善するとしたら、幹線道路から地区内に入る所だと思う。徹底的に効果を大きくしようとするなら、幹線道路から見て、歩道を繋げるようにすればいい。そうすると、地区に入ってくる車は、その歩道を乗り越えて、地区内に入るようになる。仕切りのきちんとした道路にするというのが、地区レベルの交通計画の常套手段である。
- 細部においては、まだ詰めなければならないものがあることは重々承知している。大きな方向性としては、この推進会議でみなさまのご同意を得たということと判断させていただきたい。

〔４〕閉会

(京都市 別府歩くまち京都推進室長)

- 率直な御意見をありがとうございます。しっかりやれという叱咤激励のお声をいただいたものと受け止めている。
- 歩くまち・京都を実感できる事業、そして、都心を活性化する事業は、市政の最重要事業であると認識している。
- 沿道管理等において、これからできることを具体的にどう詰めていくのか、また、工事の段取り、歩くまち・京都の魅力をどう発信していくのか等の課題については、全庁を挙げて、早急に詰めてまいりたい。
- この事業の事業費についても、平成 26 年度予算として、20 数億円の事業費を議会にお諮りし、ご承認をいただいている。
- 単年度で、きちんと仕上げるという目標を持って、精一杯頑張っていく。

第6回「歩いて楽しいまちなか戦略」推進会議 出席者名簿

(敬称略)

分野	所 属 ・ 役 職	委 員 氏 名	出欠	備 考
学識経験者	立命館大学理工学部教授（会長）	塚口 博司	出席	
	京都大学公共政策大学院教授（副会長）	岡田 知弘	出席	
	京都大学大学院工学研究科准教授（副会長）	山田 忠史	出席	
商業関係者	京都商店連盟会長 京都錦市場商店街振興組合理事長	宇津 克美	欠席	代理 京都錦市場商店街振興組合理事 野川 敏之
	京都商店連盟中京東支部支部長 四条繁栄会商店街振興組合理事長 （合同会社KICS代表社員四条繁栄会商店街振興組合職務執行者）	堀部 素弘	欠席	代理 四条繁栄会商店街振興組合専務理事 亀井 邦彦
	京都商店連盟中京東支部まちづくり委員長	石野 猛	出席	
	河原町商店街振興組合理事長	宇治田 脩孟	出席	
	株式会社高島屋京都総務部総務担当部長	大井 義雄	出席	
	株式会社大丸松坂屋百貨店大丸京都店業務推進部総務・保安担当マネジャー	松崎 幹弥	出席	
	株式会社藤井大丸業務推進部部長	内藤 篤	出席	
	株式会社丸井京都マルイ店次長	小屋 弘幸	出席	
自治連合会	日彰自治連合会会長	山口 正夫	欠席	
	生祥自治連合会会長	中村 勝	欠席	代理 生祥自治連合会副会長 山村 英紀
	立誠自治連合会会長	山本 訓三	欠席	
	豊園自治連合会会長	西脇 博士	欠席	
	開智自治連合会会長	藪下 清二	欠席	
	永松自治連合会会長	井上 清次	欠席	代理 永松学区市政協力委員連合協議会会長 下前 潤一
関係団体	「歩いて楽しいまちなか戦略」における駐車場問題対策協議会会長	津田 和雄	出席	
	京都府旅館ホテル生活衛生同業組合理事長	北原 茂樹	出席	
交通事業者	京都タクシー業務センター代表幹事	安居 早苗	出席	
	社団法人京都府トラック協会専務理事	浅井 孝司	出席	
	京都市交通局自動車部長	松本 建次	出席	
国土交通省	近畿地方整備局建政部都市整備課長	吉澤 勇一郎	欠席	代理 都市整備課課長補佐 田中 克己
	近畿運輸局企画観光部交通企画課長	加藤 陽之助	欠席	代理 企画観光部次長 山口勝彦
	近畿運輸局京都運輸支局首席運輸企画専門官	川合 宏和	出席	
京都府警察	警察本部交通部交通規制課長	宮路 正美	欠席	
	中京警察署長	樋口 文和	欠席	代理 交通課長 岡嶋 多門
	下京警察署長	一國 裕二	欠席	代理 交通課長 岩本 和彦
京 都 市	交通政策監	堀池 雅彦	出席	
	都市計画局土木技術担当局長	山田 信祐	出席	
	都市計画局歩くまち京都推進室室長	別府 正広	出席	
	都市計画局歩くまち京都推進室事業推進担当部長	高見 孝幸	出席	
	都市計画局歩くまち京都推進室土木技術担当部長	高松 幸男	出席	
	行財政局サービス事業推進室長	池内 正貢	出席	
	産業観光局商工部長	山本 達夫	欠席	代理 産業政策課長 原 昭彦
	建設局建設企画部技術総括担当部長	横木 孝司	出席	
	建設局土木管理部長	大嶋 政夫	欠席	代理 調整管理課長 谷口 一朗
	建設局土木管理部自転車総合政策・公物管理担当部長	古川 真文	出席	
	建設局道路建設部長	岩井 英人	欠席	代理 道路環境整備課事業促進担当課長 小島 勉
	中京区役所地域力推進室長	真下 清	欠席	代理 地域力推進室まちづくり推進課長 金子直幸
	下京区役所地域力推進室長	加藤 滋明	出席	